

特別会計

(単位:万円)

会計名	●歳入決算額	●歳出決算額
国民健康保険事業	83億8,062	82億6,117
介護保険事業	54億5,879	53億1,267
後期高齢者医療事業	16億7,035	16億4,146
土地区画整理事業	18億5,244	17億1,599
公共用地対策事業	2億8,287	8,108
下水道事業	21億3,480	19億8,430
三谷町財産区	1億3,494	1億930
西浦町財産区	1,399	961
合計	199億2,880	191億1,558

企業会計

(単位:万円)

会計名		●収益的	●資本的
水道事業	収入決算額	18億9,857	1億8,000
	支出決算額	16億8,821	10億6,290
病院事業	収入決算額	69億1,905	4億5,110
	支出決算額	89億372	8億4,975
モーターボート競走事業	収入決算額	755億8,837	27億6,132
	支出決算額	735億6,037	44億9,458

モーターボート競走事業会計は、病院事業会計に12億6,000万円、下水道事業特別会計に5億4,000万円、土地区画整理事業特別会計に3億円、合計21億円を繰り出しました。

健全化判断比率・資金不足比率

平成26年度決算における健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします。

平成26年度決算における算定の結果、財政の健全度を表す健全化判断比率の4指標はすべて「早期健全化基準」と「財政再生基準」を下回っており、市の財政は健全性を確保できています。また、公営企業会計でも資金不足は発生していません。

健全化判断比率

(単位:%)

区分	蒲郡市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.67	20.00
連結実質赤字比率	-	17.67	30.00
実質公債費比率	-1.9	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率の「-」は、実質的な赤字が発生していないことを表します。
 ※将来負担比率の「-」は、実質的な将来負担が発生していないことを表します。

資金不足比率

(単位:%)

公営企業会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
病院事業会計	-	20.0
モーターボート競走事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0

※資金不足比率の「-」は、各会計で資金不足が発生していないことを表します。

健全化判断比率

次の4つの指標で財政状況を判断します。

①実質赤字比率

一般会計などにおける赤字の程度を示す指標で、数値が大きいほど赤字の額が多くなり、厳しい財政状況にあると言えます。

②連結実質赤字比率

①と同様の指標で、全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての収支状況を示すものです。

③実質公債費比率

借入金の返済額などの大きさを示す指標で、数値が大きいほど返済以外に使えるお金が少ない状況にあると言えます。

④将来負担比率

一般会計などの借入金や、将来負担すべき実質的な負債の程度を示す指標で、数値が大きいほど将来的に財政が圧迫される可能性が高いと言えます。

資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額を示す指標で、数値が大きいほど経営状況が厳しいと言えます。

